

令和三年度 奈良県知事賞

税をはらうとおこるいい事

奈良県立奈良南高等学校 一年 山本 華鈴

世の中には色々な種類の税金があります。その中でも私達が一番近い税金は、消費税だと思います。私はこの消費税を何の考えもなしではらっていました。他の子供やもしかしたら大人の人達も同じように何も考えずにはらっているに違いありません。または、「何でこんな余分にお金をもっていかれるのだろう」と思っているかです。私はこの作文を通して、税について考えました。そして、国民全員がこういう考えではいけないと思いました。私達がはらう税金でできることは、中学校までの教科書の無料配布であったり、ゴミを無料で集めてくれたり、きれいな町づくりであったり、公共施設の安全であったり、病院を利用するさいのお金をだしてくれたり、救急車や消防車が無料できてくれたりと、私達国民にとってありがたいことばかりです。私も眼科に通っていたり、学校に通っていたりしているので、税金はとても助かっています。私が住んでいる大淀町が便利で安全で、美しいのも、税金のおかげです。私は中学生のときに、もしも税金がなくなったらどうなるのかというマンガを読みました。町にはゴミがあふれかえり、町の公園はさびて、学費が高く学校にも通えない。家でたおれても、救急車に乗るお金をもっていない。しんどくなってもお金がなくて病院にもいけない。そんな世界でした。税金がなくなるだけで、こんなに困ることがおきるのかと思うとあらためてありがたいものだと思いしられます。税金のことについて調べていくと、国によって税の値段に違いがあることを知りました。一番消費税が高いのはハンガリーで二十七パーセントらしいです。逆に一番消費税が安い国は台湾とカナダで五パーセントです。安いほうがいいのか高いほうがいいのか、わかりませんが私自身は税金が高いほうがうれしいです。税金は地域をまもる宝物です。税金があるから、私達は安心安全できれいな町にすめているのです。これからは国民全員が税はなんのためにはらっているのか。税をはらうとどんないいことがあるのか。考えることが大切だと思います。税は地域をまもる宝物なのでこれからも重宝していきたいです。